

## 「成長期の娘のブラジャーに関する母親の意識・行動調査」

意識調査と、「ツボミスクール」の活動から読み取る母娘のコミュニケーションの実態

株式会社ワコールでは、女性の体は生まれてから既に変化をはじめていることに着目し、蓄積された調査データに基づいて、成長期の女子のブラジャー着用がいかに大切かということについて「ツボミスクール」を中心に啓発を続けてきました。しかし、その現場では、母娘間の意識の違いや、それぞれの不安を目の当たりにすることが多いのが現状です。

そこで、2月12日の「ブラジャーの日」を目前に、母娘でブラジャーについて考えるきっかけづくりとして、小学校4年生～中学校1年生の娘を持つ母親を対象として「娘のブラジャーに関する母親の意識・行動調査」を実施、娘のブラジャーに関しての母親の意識や行動、更に実際の着用状況をうかがいました。

この調査と「ツボミスクール」でのアンケート結果より、母娘共に、体の成長や初めてのブラジャーに関しては不安を持っていることや、母親の知識への自信の無さが、母娘のコミュニケーションに影響することがわかりました。また、母親自身のブラジャーへの意識が娘のブラジャー選びにも影響していることも、明らかになりました。

### ◆母娘ともに体の成長や初めてのブラジャー着用に関して不安を持っている

- ・娘の初めてのブラジャー選び 50.2%の母親が『不安』と回答、女子（娘世代）も44.2%が『不安』
- ・女子（娘世代）の不安の理由は「（体の成長が）友達と差があること」（44.1%）、「ブラジャーを着用すべきかどうか」（42.3%）、母親が娘の初めてブラジャーを選ぶときの悩み1位は「サイズがわからない」（51.0%）
- ・母親の、娘のブラジャー選びの実態 61.4%が試着も採寸もさせないで購入

### ◆母親の「ブラジャーへの意識」は、娘のブラジャー選びに影響する

- ・自分自身がブラジャー購入時に試着か採寸をしている母親の56.8%は、娘のブラジャー選びの際に試着か採寸をしている一方、試着・採寸をしていない母親は、25.5%に留まる

### ◆「知識への不安」は母娘のコミュニケーションに影響する

- ・知識に不安を持っている母親の34.9%は、娘とバストの変化や初経など女性特有の変化について話し合いができていないが、知識に自信を持っている母親は17.2%と比率が低い
- ・話し合ったことがない理由は「きっかけがつかめない」（36.4%）、「知識が無く説明できる自信がない」（25.3%）が上位に

#### 【ツボミスクールアンケート概要】

- ◆ 調査期間 : 2011年4月～12月
- ◆ 調査対象 : 小学校4年生～中学校1年生の女子
- ◆ サンプルと設問数 : 女性 1,769名 5問
- ◆ 調査方法 : スクール開催時にアンケート用紙を記入

#### 【意識・行動調査概要】

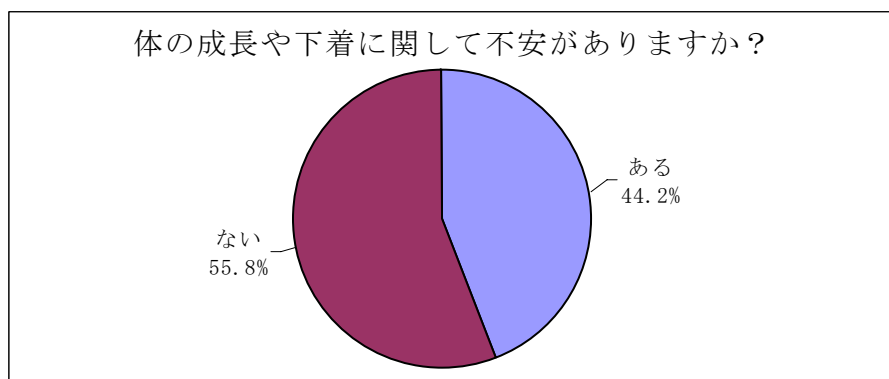
- ◆ 調査期間 : 2011年12月
  - ◆ 調査対象 : 小学校4年生～中学校1年生の娘を持つ35歳～49歳の母親
  - ◆ 対象エリア : 全国
  - ◆ サンプルと設問数 : 女性 1,031名 (30代 399名、40代 632名) 30問
  - ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ※ (SA) 選択肢から1つを選択する回答形式、(MA) 選択肢から複数選択を可能にする回答形式  
※各図表中のnはその設問への回答者数を表しています。  
※数値は少数第2位を四捨五入しています。

◆母娘ともに体の成長や初めてのブラジャー着用に関して不安を持っている

「ツボミスクールアンケート」

◇自分の体の成長や下着に関して半数近くの女子が、「不安」と回答

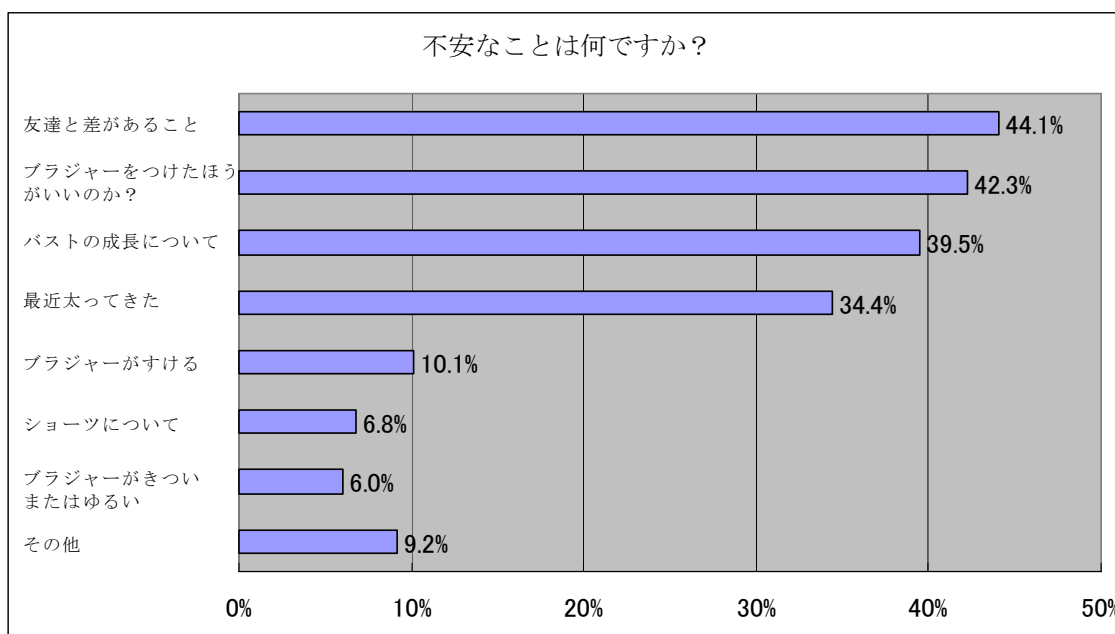
「ツボミスクール」に参加した女子へのアンケートによると、44.2%の女子が自分の体の成長や不安に関して不安を抱いていると回答。約半数近くの女子が、自分の体の成長変化に関して不安を持っている事が明らかになった。



(SA) n=1,769人

◇不安な事柄の1位は「(体の成長が)友達と差があること」、「ブラジャーを着用すべきかどうか」、「バストの成長について」などが上位に。

「不安」と回答した女子に対して、複数回答で不安の理由を聞いたところ「(体の成長が)友達と差があること」(44.1%)、「ブラジャーを着用すべきかどうか」(42.3%)、「バストの成長について」(39.5%)が上位に挙げられた。友達と自分の状態を比較したり、自分自身のバスト成長や、ブラジャーの着用の必要性などが大きな悩みとなっていることが伺える。



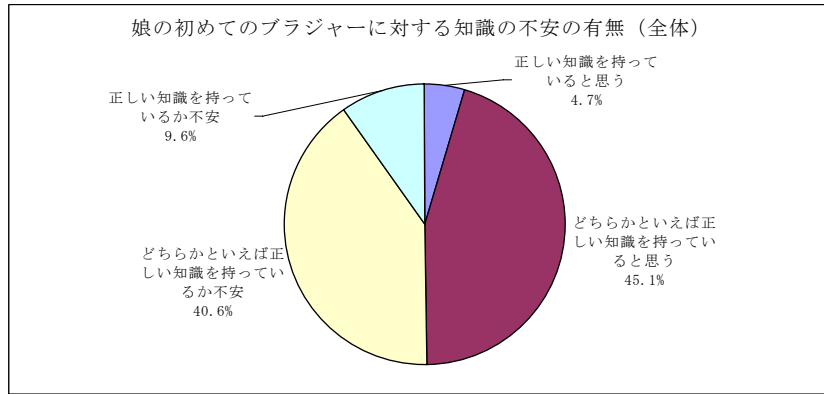
(MA) n=782人

「娘のブラジャーに関する母親の意識・行動調査」

◇50.2%の母親が娘のブラジャー選びに「不安」を抱えている

母娘ともに、約半数近くが「不安」と読み取れる結果に

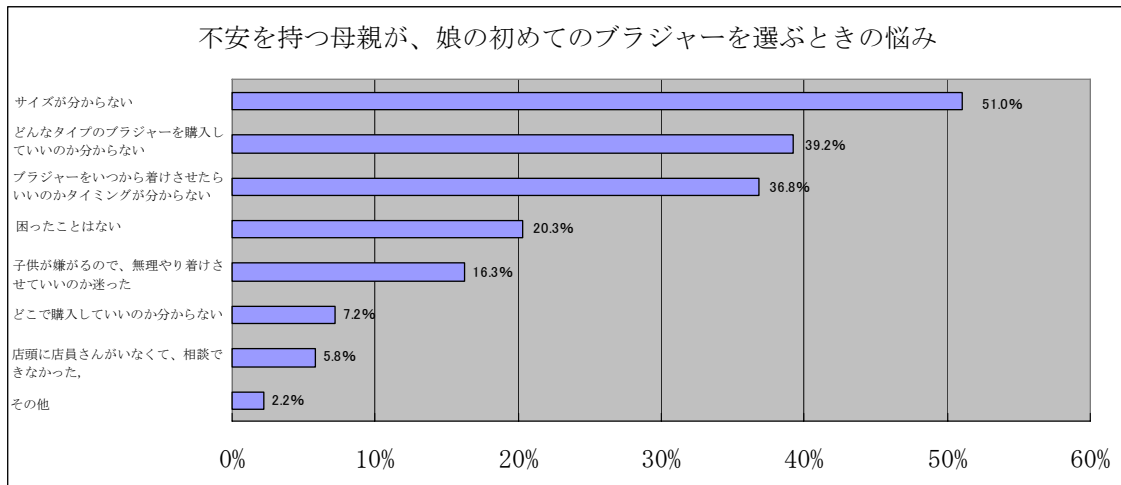
「ツボミスクール」でのアンケート結果で44.2%の女子が「不安」と回答しているなかで、意識・行動調査でも娘の初めてのブラジャー選びの際、自分の知識に不安を感じている母親は約半数の50.2%にもものぼっている結果となった。



(SA) n=1031

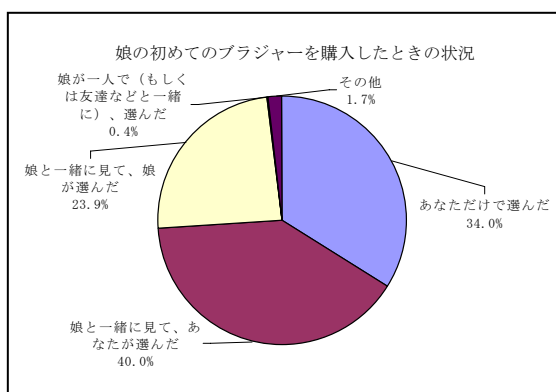
◇娘の初めてのブラジャーを選ぶときの悩み1位は「サイズがわからない」

不安を持つ母親が多い娘の初めてのブラジャー選ぶ際の悩み第1位は、「サイズがわからない」(51.0%)。また、「どんなタイプのブラジャーを購入していいのか分からない」(39.2%)「ブラジャーをいつから着かせたらいいのかタイミングがわからない」(36.8%)など、ブラジャーに対する知識への不安をあらわす回答が2位、3位にランクインしている。

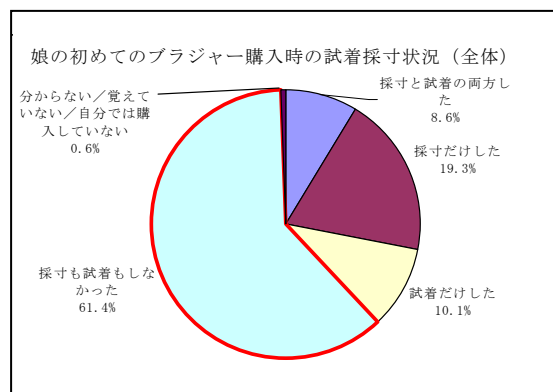


(MA) n=823

◇母親の、娘のブラジャー選びの実態 61.4%が試着も採寸もさせないで購入  
娘のブラジャーを購入する際の状況を母親に聞いてみると、34.0%の母親が「娘は連れて行かずに自分（母親）だけで選んだ」と回答している。また、購入時の試着採寸状況については、61.4%が「試着も採寸もしなかった」と答えており、娘の体に合っていないブラジャーを購入している可能性が高い事が明らかになった。



(SA) n=823

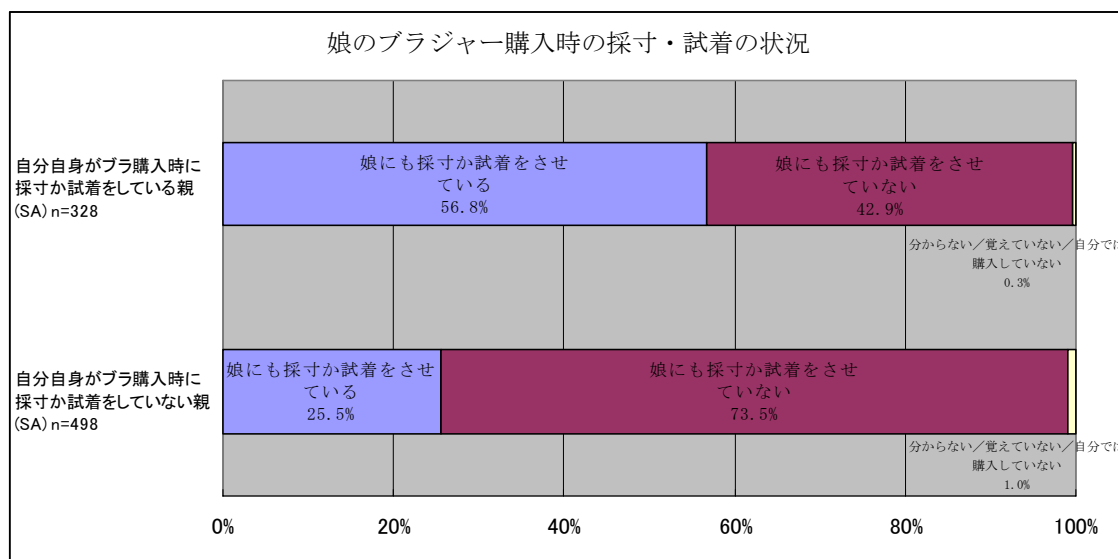


(SA) n=823

◆母親のブラジャーへの意識は娘のブラジャー選びにも影響する

◇自分自身のブラジャー購入時に試着か採寸をする母親の 56.8%は、娘のブラジャー購入時に試着か採寸をしている

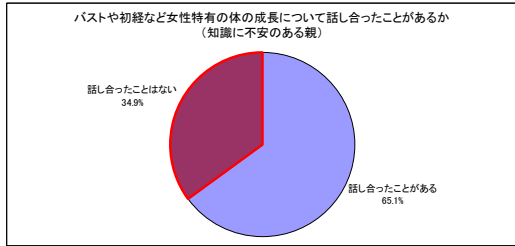
自分自身のブラジャー購入時に試着か採寸をする親としない親とで、娘のブラジャー選びにも違いがみられた。娘のブラジャー購入時に試着か採寸をする母親は、自身が試着か採寸をする親では 56.8%にもものぼることに対し、自身が試着採寸しない親では 25.5%にとどまることがわかった。自分自身のブラジャーへの意識の高さ（低さ）が、娘のブラ選びに反映していく傾向が明らかになった。



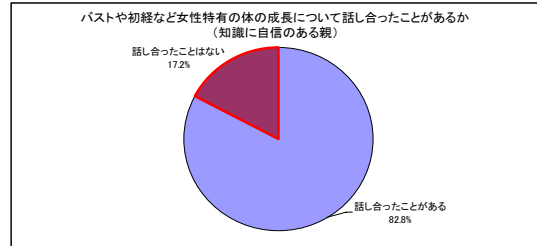
◆「知識への不安」は母娘のコミュニケーションに影響する

◇自分の知識に自信がない母親の3人に1人は、娘と話し合えていない

バストや初経など女性特有の体の成長について娘と話し合えているかと質問したところ、自分の知識に不安があると答えた母親のうち 34.9%が「話し合っていない」と回答したのに対して、知識に自信を持っていると答えた母親では 17.2%と比率が低くなっている。



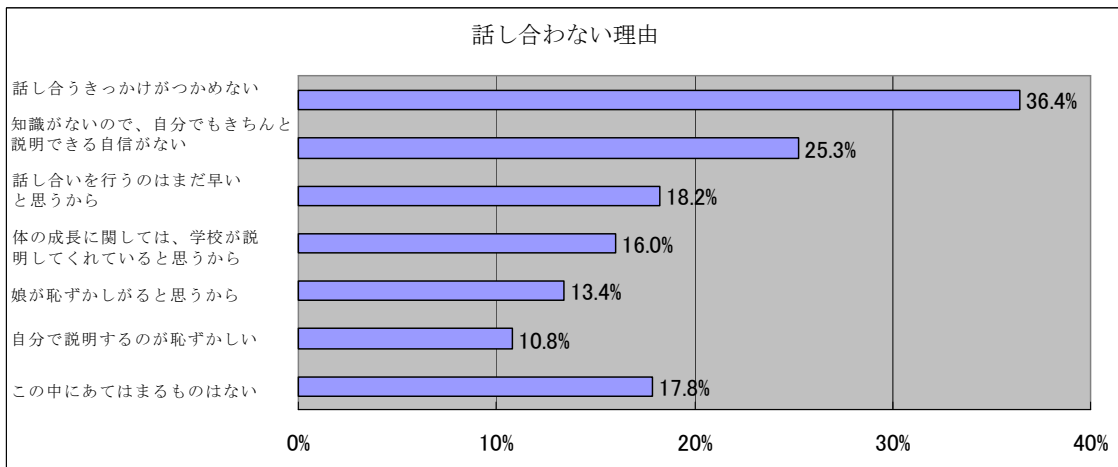
(SA) n=518



(SA) n=513

◇話し合えない理由は、自分の知識に自信が無いため

話し合っていないと答えた母親に話し合わない理由を聞いたところ、「きっかけがつかめない」(36.4%)、「知識がないので説明できる自信がない」(25.3%)が上位にランクイン、母親が自分の知識に自信がないことが、娘と会話に踏み出せない要因となっていることが明らかになった。母親の知識への自信の有無が、母娘のコミュニケーションに影響を与えているようだ。



(MA) n=269

### 【今回の調査からの考察】

今回の母親への意識・行動調査と、「ツボミスクール」での女子のアンケート結果より、バストや初経など女性特有の体の成長に関して、母娘が共に不安を感じていること、母親の知識への不安が、母娘のコミュニケーションにマイナスの影響を与えている実態、母親自身のブラジャーへの意識が娘のブラジャー選びに影響を与えている状況、などが明らかになりました。母親自身が女性特有の体の変化に関して、正しい情報や知識を持つことが「自信」につながります。

ワコールでは店頭のコンサルティングや、「ツボミスクール」などを通して母娘ともにバストをはじめとする体の変化に合わせて、正しい下着を着用していただくお手伝いを致します。

#### 【参考】

##### ◇ 2月12日「ブラジャーの日」

1913年2月12日に、アメリカ人女性 メアリー・フェルブス・ジェイコブさんが、ハンカチをリボンで結んだ、ブラジャーの原型となるものを考案し特許を取得したことから。

##### ◇ ツボミスクール

ワコールが、2001年より関東エリアで開始した小学校4年生～中学校2年生の女子と、その保護者を対象に講師派遣をし、成長期の体や下着に関して情報交換や学習をする教室です。

2004年から関西エリアでも実施を開始し、実施回数は平均して年間300～350回開催。

参加者は、2010年3月末までで延べ28,000人以上に達しています。

ツボミスクールの概要は以下のサイトで紹介しています。

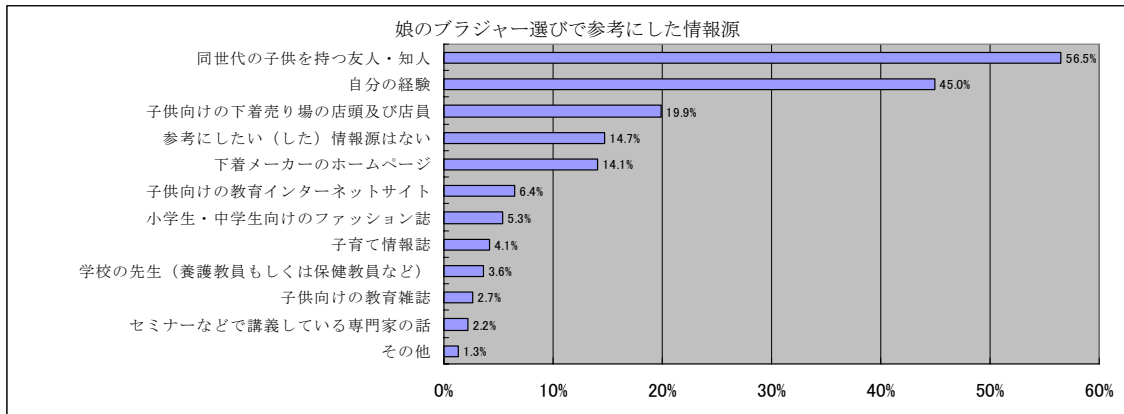
<http://www.wacoal.jp/company/tsubomi/index.html>

〈番外編〉 その他のデータ

◇娘の初めてのブラジャー選びで参考にした情報源

1位は「同世代の子どもを持つ友人・知人」

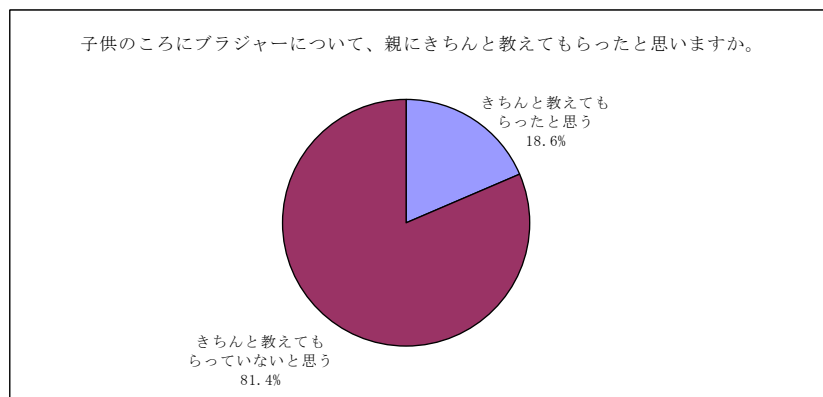
娘のブラジャー選びについて参考にする情報源の第1位となったのは「同世代の子どもを持つ友人・知人」(56.5%)、第2位は「自分の経験」(45.0%)。知識に不安を持つ母親同士の情報交換や自分の経験といった情報を元に、娘のブラジャーを選んでいることがわかった。



(MA) n=823

◇81.4%の母親が「子どもの頃にブラジャーについて親からきちんと教えてもらっていない」

子どもの頃に「ブラジャーの着用のタイミングや選び方、着け方」などについて、母親にきちんと教えてもらったかをたずねたところ、81.4%が「きちんと教えてもらっていないと思う」と回答。家庭での下着着用の関しての教育は不十分である可能性がうかがえる。



(SA) n=1031

## 〈コラム〉「合わないブラジャーが授業への集中力を下げる！？ 成長期の子どもに適切なブラジャーが必要な理由」

帝京短期大学 生活科学科 学科長・教授 宍戸 洲美 氏

小学校の養護教諭として長年勤務し、児童の健康を見守りながら「からだ学習」の指導を推進。

現在は大学で学生の指導にあたるかわら、NPO 法人「日本子育てアドバイザー協会」などの講師も務めている。専門は学校保健や養護概論、特別支援教育。

主な著書：『養護教諭の役割と教育実践』『保健室登校出育つ子供たち』

### 【子供の下着を取り巻く環境】

まず多くの親御さんが、何を根拠に子供の下着を選べば良いのかわかっていच्छゃらないと感じます。下着の必要性・どんな下着が良いかの知識がない方が多く、それは下着について学ぶチャンスがなかったからだと思います。

教科書レベルだと 3、4 年生の保健の教科書に「清潔な体」として下着の話が少し出てきますが、目には見えなくても汚れているから毎日取り替えようというレベルの話。それは思春期とは関係のない下着の話でしかありません。女子の下着に関しては教科書にあるわけではないのです。

現場で見ていると、小学生は体育着になるときにブラジャーを着けないので、体育着の上から明らかにバストの形がわかるような子供たちもいます。ですが、親は日常的にその姿を見ないので気が付かないままです。

### 【体に合ったブラジャーをつけていないことのデメリット】

まずエチケットとして、ブラジャーをせずに体育着などの上からバストの形が見えるのは周囲に良くありませんし、特に薄着になる夏にブラジャーを着けないことは、性の犯罪にもつながるので、着用するよう指導しています。また着けたとしても、体に合わないブラジャーだと問題があります。

具体的には合わないブラジャーをつけていることが、その子の集中力の欠如につながるといえるかと思います。ブラジャーが合わないと、とても気になって落ち着きません。そのことによって、集中して授業を受けられなかったり、運動時に思いっきり体を動かすことができないという状況が散見されます。思春期で心も体も成長していく時期ですから、ちょっとした様子の変化に対して、周囲が配慮すべきだと思います。

### 【体に合ったブラジャーを選ぶために】

ブラジャー（下着）の問題をはじめ、子供には親、地域、教員がみんなで共有しながら、知恵を出し合って改善していく必要のある問題が多くあります。ブラジャー（下着）選びに関しても、教員と親と一緒に学んでいく取り組みをすることで、子供の体にあった快適な下着を着けられる環境づくりが重要だと思います。

#### 〔報道関係の方からのお問い合わせ先〕

株式会社ワコール 広報・宣伝部

(東京) TEL : 03-3239-1117 FAX : 03-3239-1118

(京都) TEL : 075-682-1006 FAX : 075-682-1103

株式会社インテグレート 担当 : 四宮、鈴木いづみ、袴田

TEL : 03-5771-9952 FAX : 03-5771-5524